

全国病児保育協議会のホームページ <http://www.byoujihoiku.ne.jp>



= 今号の目次 =

- 1頁 協議会メール 第14回全国病児保育研究大会で大いに学びましょう
2頁 加盟施設紹介
「いなみ小児科附属病児保育室 ハグルーム」
「かわむら小児科病児保育室 モーモーハウス」
「コアラ病児保育室」「医療法人ニコニコ診療所ニコニコ病後児保育園」
3頁 加盟施設紹介
「塚田こども医院内 わたぼうし病児保育室」

- 「三愛小児科 びわこキッズケアルーム」「安謝小児クリニック こどもデイケアセンター」
「西岡医院病児保育室 レインボーキッズ」
4頁 ブロック便り 関東ブロック
5頁 ブロック便り 宮崎ブロック・近畿南ブロック
6頁 第14回病児保育研究大会プログラム
7頁 診察室から2・リレー保育日誌2
8頁 編集部からのお願い
新規加入施設紹介

協議会メール

第14回全国病児保育研究大会で大いに学びましょう

会長 藤本 保

第14回全国病児保育研究大会まで残すところ20日を切りました。今大会は、開催地実行委員会の手によって全ての企画・運営がなされたはじめての研究大会です。大会会頭であり実行委員長である井崎和夫先生を筆頭に開催地事務局のご尽力によりたいへんすばらしい企画になっています。

研究大会の企画にあたっては実行委員会のメーリングリストで、今大会がより有意義に、より幅広い分野に、参加した一人一人に得るものが多い大会になるようにとの熱い討論が繰り返されていました。

プログラムをご覧ください。実に盛りだくさん、そして幅広い分野をカバーするすばらしい内容です。初日に開催される市民公開講座。会員のみならず一般の方々にも聞いていただくことで究極の子育て支援『病児保育』をより広く知っていただけることでしょう。また、今年も厚生労働省の母子保健課の担当者による行政説明があります。この研究大会に参加しなければ、このように直接話を聞くチャンスを得ることは難しいでしょう。

当協議会顧問である帆足英一先生からも示唆に富むお話が聞けることはいうまでもなく、特別講演の講師としてお迎えする横浜市立大学大学院教授の横田俊平先生からは、病児保育を実践する現場スタッフとしては不可欠の知識である「子どもと感染症」についての講義を受けることができます。

2日目は、病児保育の基礎をおさらいする基礎研修、今行っている病児保育をさらにブラッシュアップする目的のステップアップ研修、そして施設長を対象として「病児保育とは」を問い討する施設長研修、それにさまざまなテーマに分かれて学び合い高めあう分科会が企画されています。

病児保育に携わる年数に関係なく多岐に渡る立場と職種の人々が一堂に会して意見交換する場です。午前中枠では他に調査委員会から「病(後)児保育施設実態調査」について報告が行われる予定です。

協議会事務局(大分)に電話で寄せられる問い合わせの多くは全国の病児保育施設の現状についてと言っても過言ではありません。その最新の統計が報告されます。

ところで、初日の午後一番に総会を開きます。今年は役員改選の年。協議会の運営に積極的に取り組んでくださる方々を選びたいものです。

今回、事前登録をされた参加者は昨年を大きく上回りました。協議会研修会史上最多です。ただ単にその場に座り他の施設の話聞いて帰るだけの研修会ではありません。ぜひとも自ら参加し疑問をぶつけ、自分ない考え方に触れ、大きなお土産を持ち帰ってほしいと思います。

初日の夜には横浜ならではの趣向を凝らした懇親会が企画されています。ご当地色を前面に出したこのような企画が楽しめるのも、開催地に実行委員会を置く醍醐味ともいえましょう。ぜひぜひ参加者同士積極的に交流を深めてください。

大会が開かれる時期には梅雨も明けるとして良いでしょう。皆様と病児保育を語り学び、実り多い時を過ごせるのを楽しみにしております。

7月18日・19日、横浜の夏空の下でお会いしましょう!

加盟施設紹介

いなみ小児科付属病児保育室

『ハグルーム』

平成15年1月に都立母子保健院の閉院にともない後を引き継ぐ形で開設しました。定員は8名、うち世田谷区の助成対象者は6名、残り2名は自主事業です。職員は看護師2名、保育士8名です。

「ハグ=愛情を持って抱きしめる」をモットーに、スタッフは病気の子もたちだけでなく保護者も抱きしめ受けとめる保育を目標にしています。1年半で延べ1200名の利用があり、助成対象も4名から6名になりました。短期間お預かりするだけでなく、保育園ともつながりを持

ち、多岐にわたった子育てで支援ができるよう今後も努力していきたいと思っています。

看護師 佐々木 晴美
所在地:154-0002
東京都世田谷区下馬3-22-14
TEL:03-3422-0565



かわむら小児科病児保育室

「モーモーハウス」

こんにちは!山口県の東部、周南市にある病児保育室「モーモーハウス」です。当施設は平成14年6月、旧徳山市からの委託を受け、かわむら小児科の隣に開設した医療機関併設型の病児保育室です。

旧徳山市では初めての施設でしたが、昨年徳山市は隣接する市町と合併し、周南市内では3番目の施設となりました。

当地区周辺のニーズは高いようで、昨年度の利用者数はのべ999名でした。病児保育室のための土地購入、建築には多大

な費用がかかり、経営自体も黒字というわけにはなかなかいきませんが、おかささん方からの「とってもたすかりました」「できる限り続けてください」という声に励まされながら、今後も続けていく所存です。よろしくお願いたします。

施設長 河村 一郎
所在地:745-0006
山口県周南市花畠町4-3
TEL:0834-32-0542



コアラ病児保育室

谷本小児科院長が代表をしております。場所は、広島市の宮島に寄った郊外にあり、広島市の援助を受けて運営しています。

定員は6名ですが、多いときはそれを上回ることが度々あります。栄養士2名が交代で病状に合わせた献立を用意しています。また、自宅での生活と同じようなくつろげる空間で安心して、発熱などのつらい状態を緩和しながら過ごしてもらえる配慮しています。

病児保育室の隣に(まったく別になっています。)一時預かり託児、幼児教室を運営

していますが、隣はにぎやかです。

今はマンションの一軒分で運営していますが、近い将来、医院と病児、託児を新築の建物に移転する予定です。1階部分が医院で2階部分に病児保育などを作る予定にしています。

代表 谷本 猛
所在地:731-5127
広島県広島市佐伯区五日市5丁目15-4
TEL:082-943-3771



医療法人ニコニコ診療所

にこにこ病後児保育園

平成16年4月1日開設しました。

外観は、お城をイメージしたかわいい建物となっており、室内は、県産杉材を使用してやわらかい仕上げとなっています。床暖房の設備もあり明るく、あたたかい室内となっています。

職員は、常勤の看護師1名ですが、万一のサポートは、併設した診療所の看護師がしてくれています。

普段通っている保育園と違い慣れるのに時間はかかりますが、保護者の方が安心して預けられるように室内での遊びや食事にも気を

配っています。保育園の定員は20名、病後児室利用は、通常2名までとなっています。

看護師 荒牧 雅美
所在地:879-7104
大分県大野郡三重町大字小坂4165-1
TEL:0978-22-3988



加盟施設紹介

塚田こども医院内

わたぼうし病児保育室

当施設は医療機関併設型として、平成13年度6月に開設されました。(公的補助は受けていません) 医院の2階を改装し定員4名でスタートした「わたぼうし」。利用される方が年々増えたため、施設を充実させて今年2月大きく生まれかわりました。

定員も6名となり広い保育室で子どもたちはのびのびと過ごしています。

『「お熱があるから今日はわたぼうしだね」とはりきっちゃって・・・』そんなお話を保護者の方からお聞きする度、喜んではい

けないと思いつつ思わずニヤけてしまう保育士たちです。

まだまだよちよち歩きの「わたぼうし」ですが、これからも保護者の方が安心して預けられ、子どもたちが楽しく過ごせる保育室作りに励んでいきたいと思えます。

保育士 伊藤 典子
所在地:942-0072
新潟県上越市栄町2丁目2-25
TEL:025-544-7779



三愛小児科

びわこキッズケアルーム

私たちの施設は、日本一大きい湖琵琶湖の湖南地域にあり県下初の認可施設として平成13年7月に開設しました。年間利用者数は850人を数え年々増加しています。

部屋は3室で、感染予防のため出入口及びトイレも別にし、職員は予防着着用や手の消毒等、十分な注意を心がけています。定員は6名で平均1日当たり2.8名の利用です。

施設の最大の特徴は、医療機関併設型で当医院は365日24時間開院し、小児科の医師が常駐して必ず朝・昼の診察・回診を

し、子どもの症状を把握しています。

スタッフ全員「遊びの展開」を中心とした暖かい雰囲気の中で、利用者が安心して楽しく過ごすことができるよう心がけ、「また、来たい!」と思えるような笑顔の保育看護を目指してがんばっています。

室長 福谷 玲子
所在地:520-3024
滋賀県栗東市小柿6-10-37

TEL:077-554-8815



安謝小児クリニック

こどもデイケアセンター

平成7年7月に沖縄で初めての病児保育施設ということで開所しました。当初は、不安や戸惑いも多くありましたがなんとか10年の節目を迎えることが出来ました。

所在地である那覇市からの補助対象は4名ですが、近隣の市町村からの利用も10%ほどあります。又、当施設は、医療機関併設型ですので、急な病状の変化にも対応できるのが利点です。

兄弟・姉妹で利用されている方からは「またお願いしますね。」と声をかけられることもあり、「微力なが

ら子育てのお手伝いが出来ているかな」と思っています。

病児保育が知られるようになり、年々利用者数が増えています。これからも病気の子どもたちが安心して一日を過ごすことが出来る場所でありたいと思っています。

看護師 新垣 泉
所在地:900-0003
沖縄県那覇市安謝215-1
TEL:098-869-0600



西岡医院病児保育室

「レインボーキッズ」

当施設は平成14年3月、医院と同じ敷地に高松市の委託を受け開設しました。あたたかい雰囲気の中で子どもたちが安心して過ごせるよう、部屋の各所に木材を用い、玩具にも木を多く取り入れています。

また、プレイルーム・隔離部屋・安静室・サンルームなどの各部屋にはそれぞれ窓があり、天気の良い日には外の景色を眺めたり、外気にふれたりしている気分転換になっているようです。近くに駅があり、窓からは電車が見えたり踏切の音が聞こえるので、泣いて

いた子どもたちも泣きやみ喜んで電車を見たり、電車の色を当てっこしたりしています。

今後も、レインボーキッズが子どもたちにとって特別な所ではなく、家庭や保育所と同じように気軽に安心して過ごせる場であるように心がけたいと思います。

保育士 山田 恭子
所在地:761-8085
香川県高松市寺井町1385-10

TEL:087-885-2021



東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

関東ブロックから
第2回 明德病児保育スタッフ研修会
 明德短期大学 田辺 ますみ

今年度は他の病児保育室の見学をメインに据え、地域の保育所、看護師養成校見学し、病児保育を考えてみました。

日時: 2004年2月28日(土)
 10時~17時

見学先:

1. 小坂こども元気!! クリニック
2. 中央区立明石町保育園
3. 聖路加看護大学

参加者: 15名 8施設

参加費: 無料

プログラム

- 10:00~小坂こども元気!! クリニック
- 12:00~昼食会
- 14:30~中央区立明石町保育園
- 16:00~聖路加国際病院、聖路加看護大学図書館
- 17:00~解散

見学その1

小坂こども元気!! クリニック
 まず、自己紹介から始まりました。病児保育室の形態(医療機関併設型、保育所併設型など)、病児保育の利用状況、スタッフの配置など含めて語っていただきました。

今回は、病児保育をまだ始めていない方も参加していただいたので、あおぞら病後児保育室 さくらんぼの井崎医師より、スタンダードプリコーションについて概略を話していただきました。項目は、以下の通りです。

- 1 感染症対策 特に感染経路の遮断について
- 2 手洗いの方法 実際にみんなでやってみました。
- 3 病児保育室の消毒について 話し合いの話題

1 病児保育室の定員の季節変動型と流行時変動型とスタッフの配

置

小坂こども元気クリニックは、保育士が常勤で3名おり、男性保育士もいる。こどもの数が少なく定員に満たない時には環境整備などを行っている。

2 病児保育の保健管理

感染予防と個別マニュアル、SIDSと事故予防、食中毒と食物アレルギー、備品と設備の点検などをどのようにおこなっているか。

3 病児・病後児への保育看護

ベッド上安静、室内保育、感触あそび、ごっこあそびをどのようにおこなっているか。

看護・保育目標の設定について、保育中のこどもの組み合わせ、保育異年齢小集団保育をどう楽しむか スタッフの組み合わせをどうするか。保育中のスタッフの休憩をどう確保するか。

昼食会

話が一段落した所で、小坂医師のオススメのもんじゃ焼き屋さんへ移動。もんじゃ焼きやお好み焼き、焼きそば、餡子巻きなどを楽しみながら、席お近くの方と情報交換しました。

見学その2

中央区立明石町保育園

ゆっくり昼食を楽しんで、お腹いっぱいになった後で腹ごなしに、佃名物もんじゃストリート、隅田川にかかる佃大橋を渡っていただき、明石町保育園に向かいました。

保育園ではちょうどこどもがお昼寝から覚めたところで、年中のクラスからこども2名が案内をしてくれました。土曜日でこどもが少なく落ち着いた雰囲気、乳児から5歳児まで各々の保育室の環境構成を丁寧に見ることができま

した。こどもが作っているお雛様が、年齢が上がるほど高度になっていくのはみていて面白かったです。保育所の保育士さんより、ここの保育園の親が、病児保育室を利用して助かっていると言っているなどお聞きしました。

見学その3

聖路加看護大学図書館

病児保育は保育と看護の連携で成り立っているの、看護師の養成校をのぞいてみました。聖路加看護大学の図書館は看護系の雑誌、書籍が充実しており、蔵書検索システム「るかこ」により、資料検索が可能です。文献検索は、日本看護関係文献集、最新看護検索、医学中央雑誌、国立国会図書館雑誌記事検索などのデータベースがあります。

今回の見学では小児科系の雑誌、数々の看護技術のビデオテープ、AVルームなどを見ました。特にナイチンゲール自筆の看護の教科書が展示されており、ナイチンゲール像のスタンドグラスと共に一見の価値あるものでした。

図書館の終了の鐘と共に図書館を出、学生ラウンジでお茶とお菓子で一服し解散しました。

おわりに

この研修会は他の病児保育室を実際に見せてもらうことで、知見の広がりを期待しました。解散前の談話で、こんな会があるから、また明日から保育をがんばるなどの言葉を頂きました。企画者としては、もどかしい思いですが、今後病児保育室で働くスタッフはどのような研修を希望しているのか、ニーズの整理からあらためて始めたいと思っています。

今回は小坂こども元気クリニックスタッフの皆様の並々ならぬ協力の上に実現できたことで、深く感謝しております。明石町保育園、聖路加看護大学司書室の皆様にも感謝申し上げます。

東 西 南 北 ブ ロ ッ ク 便 り

宮崎ブロックから

「子育て支援講演会-病める子供のストレス緩和-」
病後児保育室ひよこのいえ 原文子

平成16年3月14日に宮崎県立看護大学講義室にて「子育て支援講演会 病める子供のストレス緩和」が行なわれました。みやざき病児保育交流会も共催として参加させていただき、ロビーに病児保育の紹介・展示をさせていただきました。その講演会の様子を紹介させていただきます。

講演は「子育て支援と遊び力」(芸術教育研究所所長:多田千尋氏)「食育のすすめ ~元気な心と体は食育から~」(NPO法人子供の森理事長:吉田隆子氏)の2講演で構成されました。

『「食」が身体の栄養ならば、「あそび」は心の栄養』と称し、何故子供にあそびが必要なのか、何故あそばないといけないのか、そして一生懸命あそぶ事でどういった影響があるのかを「遊び力」を通して言葉巧みに話される多田氏の

世界に会場が引き込まれていく様でした。病児保育や一時保育では、瞬間にしてあたかもずっと一緒にいたかのように接していかなければなりません。いわば一期一会のような関係です。そんな関係にどう接していけばよいか、間接話言やコミュニケーション技法、手作り玩具なども紹介してくださいました。

また「食」については多くの方が栄養バランスを気にかけていると思いますが、「食育」では食べることを楽しみ、食べ物と身体との関係を知ることで元気な身体と元気な心を育むことが考えられています。食べることは空腹を満たすだけでなく心を豊かにしてくれます。

豊かな心と元気な身体の育成を目指し、食からの健康教育を行いたいとおっしゃっていた吉田氏は、



『ばななうんちのうた』を作り、園児たちと歌っているそうです。歌詞を覚えると4群別が覚えられようになっており、自分たちで4つのお皿(4群)に分けたバランスの良い食事を摂る事が出来る仕組みです。ばななうんちが出るということは元気(健康)の証し。健康のバロメーターでもある排泄物が楽しく自分で観察できるなんてお父さん、お母さんは助かりますよね!

子育て支援者として、心と身体の栄養士(保育看護者)として、子供たちの病気のケアのみならず、社会的ストレスなどの緩和に努力研鑽していかななくてはならないと再認識した講演でした。

近畿南ブロックから

学び、しゃべり、笑い、涙ありの近畿南ブロック
病後児保育室こひつじ 清水 麻利子

2003年2月23日に初めて「近畿南ブロック」が行われた直後から「次の課題は何?」「今度はいつ会えるかな?」との声がたくさん聞こえてくる「大阪のノリ」で、昨年から今年にかけて近畿南ブロックはこまめにパワーを発揮しました。

2003年4月26日「感染症ビデオ学習会」を社会福祉法人入船寮内「げんきこホーム」にて八尾徳洲会病院ドクターを講師に聴くだけでなく目でも経過がわかりやすく学び、同時に児童養護施設見学もさせていただき施設形態や目的、ニーズなどの違いを感じ

る事ができました。

2003年8月9日「各施設の子どもが喜ぶ遊び」を中華料理店で和やかな雰囲気の中披露しあい、軍手人形・手作り紙芝居・手作りおもちゃなど各施設の保育をほんの少しのぞくことができました。

2003年10月19日「心肺蘇生法」「救命救急」「事故対策」を八尾徳洲会病院救命総合診療部のドクターのこまやかなアドバイスをいただき、各施設の「危険」を多方面から確認するよい機会でした。

また、2004年1月10日「保

育交流会」をおなべを囲みながら行い、各施設より普段保育でしている「ゲーム遊び」を職員が体験し大いに盛り上がりました。

そして、2004年5月9日にはまたまた新しい試みである「近畿南手遊びビデオ集」を作成する予定です。原始的に、参加人数分の手遊びをビデオに納めるだけですが・・・たくさんの子どもに楽しみをプレゼントできるといいなと思います。

学びあり、しゃべりあり、笑いあり、涙ありのパワフルな「近畿南ブロック」です。



第14回全国病児保育研究大会プログラム概要

1日目 7月18日(日)				2日目 7月19日(月・祝日)							
ひまわりの郷【第一会場】		ウイリング横浜【第一会場】		ひまわりの郷【第一会場】		ウイリング横浜【第一会場】					
時間	テーマ	講師	座長	時間	テーマ	講師	座長				
9:30	受付開始			9:00	受付開始						
10:30	市民公開講座 「横浜市の保育行政 と病後児保育」	横浜市 子育て支援事業 本部 本部長 鈴木隆	社会福祉法人 久遠園 常務理事 福澤 邦康	9:30	ステップアップ研修 「食物アレルギーと 除去食」	神奈川県立 こども医療センター アレルギー科長 栗原和幸	(福)宇治病院 小児科部長 乳児健康支援センター長 松本良夫				
11:45	昼食休憩			10:30	ステップアップ研修 「子どもの呼吸障 害」	神奈川県立 こども医療センター 救急診療科長 梅原実	八尾徳州会総 合病院 医師 神原雪子				
13:00	総会 開会あいさつ 会頭 井崎和夫			11:30	A 調査委員会報告 「病(後)児保育施 設の実態調査」	ぼけっと病児保育室 理事長 宮田章子					
13:30	行政説明 厚生労働省		みやた小児科 ぼけっと病児保 育室 理事長 宮田章子	12:15	昼食休憩						
14:30	基調講演	ほあし子どもの こころクリニック 施設長 帆足英一	エンゼル多摩 施設長 池田奈緒子	13:15	B 施設長研修 「病児保育の あり方を問う」	中野こども 病院 院長 木野稔 みなみ クリニック 院長 南武嗣) 16:00 日 赤 幼 児 安 全 法				
15:30	特別講演 「子どもと感染症」	横浜市立大学大 学院 発生生育 小児医療学 教授 横田俊平	全国病児保育 協議会 会長 藤本保	C テーマ「遊びと環境」 座長 ききょう保育園 園長 山田静子				P1 「食事」 座長 エンゼル多摩 栄養士 犬養恵子			
16:30	休憩・移動			D テーマ「病児保育のニーズと問題 点」 座長 みやた小児科ぼけっと病 児保育室 保育士 島村恵美子				P2 「自由テーマ1」 座長 光洋台中央福澤 保育センター病 後児保育室 室長 松崎恵美子			
17:15	憩親会 アトラクション 中国獅子舞 ジャズ演奏			E テーマ「保育・看護」 座長 まなこどもクリニック 院長 原木真名				P3 「自由テーマ2」 座長 きらら保育園 園長 森田倫代			
16:00	閉会あいさつ 会長 藤本保	「次回開催地引継ぎ」～岡山県									

診察室から 2

病児保育室「なずな」

医師 前田 敏子

今年は気候の変化が激しく、まだ4月だというのに、夏日が何日もありました。

そんななか、インフルエンザBの小流行がありました。K君は今年、入学式をむかえたばかりです。N小学校1年2組。それなのに高熱がでてしまいました。今日は火曜日です。日曜日は休日診、月曜日はこちらのクリニックへと通っているのに、高熱が続いて一向に下がる気配はありません。「学校へ行かせたいから、なんとかしてください。」とお母さん。こころの中で「困ったな、どうしようかな。下らないものはさがらないし。」と思いながら、血液検査の結果をみました。

エー!!。白血球減少、CRP(-)。この暑い夏日に、まさかインフルエンザ?。「インフルエンザかしら?検査していいですか?」「休日診でも頼み込んで検査してもらって陰性だったんですよ。」「でも、ふしぶしも痛いと言ってるし、えらがるてるし..。」「

しばらく、お母さんは考えていました。「検査してください。」K君にむかって「がまんするよね。」結果はインフルエンザB。「Kはワクチンをうっているのに、毎年インフルエンザのAにもBにも罹るんですよ。」効かないワクチンを怒っているのか、わが子を弱いと嘆いているのか。(すみませんね、ワクチンは私がうちました。)翌日には熱はさがりました。

そうして、この日から、近所のN小学校インフルエンザ騒動がはじまったのです。4日後の土曜日、高熱と全身倦怠感のN小2年2組の女の子がやってきました。みるからにインフルエンザの様子です。検査をしてみると、まさかのインフルエンザB。もう一人も同じ。翌週から、N小学校は授業参観と学級懇談会がはじまります。インフルエンザの流行っている学校に大勢の人が来たのでは、ますます流行が拡大してしまいます。

翌週より、2年2組の欠席者に教頭先生より次々と電話問い合わせ

せがはじまりました。あわてふためいた親達に連れられて、次々と受診にやってきました。2年2組の男の子のお母さんも、「熱がでて、えらくて仕方がないので」と言ってやってきました。みんなインフルエンザBです。暑いのでウイルスの増殖速度が遅いらしく、発症後3日たないとインフルエンザ抗原検査は陽性にでないようでした。(寒い季節に流行ったA型のときは1-2日で陽性にしていたのですが)。まだ、検出できないからと出直してもらった人もありました。

9人欠席者がでたところで2年2組の授業参観は中止、学級閉鎖となりました。それ以後、ブツツとN小のインフルエンザは終焉。やっぱり、学級閉鎖は流行阻止に有効なんだと納得。この間「保健所からも検査にきたんですよ。」と大騒ぎになっていました。暑い暑い、インフルエンザB騒動でした。

し〜保育日誌 2

エンゼル多摩

保育士 小川 明子

こんにちは、エンゼル多摩です。私たちの病児保育室は、1日平均9.8名の子どもたちが入室してきます。病気でも、「遊びたい!楽しい事したい!」というエネルギーをたくさんもらいながら、一人一人の症状の安定と笑顔の一日を心がけています。このリレー号ではそんな、毎日の姿を紹介したいと思います。



保育士と一緒に、お店屋さんごっこです。2才の子はたこ焼きをカップに入れたり出したり。4才の子はポテトを箸で容器に入れて、お隣のお部屋へ売りに行く準備をしています。(異年齢で、遊び方はちがうようですね)



その頃お隣の部屋では乳児が4人保育士に見守られながら、カード落とし・コロコロチャイムなどで思い思いに遊んでいました。

初めて仲良くなったお友達とも、夕方には一緒に*桜の散歩道*を作りました。おしゃべりも弾みながら、桜の木や花を貼ったり、道行くネコちゃんたちも描いて賑やかな春の壁面の出来上がりです。

~病院ごっこ~「今日はどうしましたか?~うう~ん、喉が



赤いです。注射しましょう。痛くないですからね!」などと言っているのは、子どものお医者さんです。隣にはもう1人のお医者さんが準備をしていますね。ちびっこ看護婦さんは、すでに薬も用意してくれています!



~はらぺこあおむし~保育士があおむしのペープサートで、子どもたちの食べ物を食べに行っているところです。お話を楽しみながら、自分のところへあおむしがやってくるのを、楽しみに待っています。

通信欄

会員の皆さまからのお便り・質問等をFAXやメールでお送りください。直接回答させていただきます。ニュース等に掲載させていただきます。

送付先:FAX06-6442-5788、メールfumifumi1@cronos.ocn.ne.jp 広報の藤本まで。

編集部からのお願い

全国病児保育協議会広報委員会では、病後児保育をより解りやすく、また多くの人に知ってもらうため「病児後保育って何?」(仮称)のパンフレットを作成しようと思っています。

そこで、皆さんの施設や行政等で発行しているリーフレットやパンフレットを参考にさせて頂きたく思っています。

今回開催される第14回全国病児保育研究大会に是非リーフレットやパンフレットをお持ち下さい。会場受付で集めます。

もし、参加されない施設でリーフレットやパンフレットがありましたらお手数ですが下記の「協議会ニュース編集事務局」へ郵送して下さい。

加盟施設の皆さんの御協力よろしくお願いたします。

お詫び

第31号の「新規加入の全国病児保育施設」コーナーで、「浜本小児科病児保育室」の施設長の名前が誤っていました。正しくは「浜本 芳彦」さんでした。関係各位のみなさまに御迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。(広報委員会編集部)

新規加入の全国病児保育協議会施設

290 こどもデイケア プリムラ
 理事長 佐藤 徳枝
 〒177-0051
 東京都練馬区関町北 1-23-10 いぐちビル2F
 TEL:03-3929-5032 FAX:03-3929-5032

291 かめざわクリニック キッズランド
 院長 亀澤 隆司
 〒486-0817
 愛知県豊春日井市東野町 10-12-2
 TEL:0568-56-5050 FAX:0568-85-9700

292 みっばあまむ病児保育るうむ
 代表 上中 政朗
 〒890-0002
 鹿児島県鹿児島市西伊敷 2-21-13
 TEL:099-220-0573 FAX:099-220-0573

293 子育て・健康支援センターちくたく
 理事長 高木 晴美
 〒949-8523
 新潟県十日町市大字馬場丙 1550-3
 TEL:0257-58-4390 FAX:0257-58-4395

これ以降の加盟施設は次号で

「施設紹介コーナー」「東西南北ブロック便り」を連載中!加盟施設のみなさん原稿をどしどし送ってください。また、各施設で特に取り組んでいることや楽しい出来事などがあれば、紹介させていただきます。原稿をお待ちしています。

<協議会ニュース 編集事務局>

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目15-5
 (株)関西共同印刷所内 藤本 文孝 宛
 TEL.06-6453-3675 FAX.06-6442-5788
 E-mail fumifumi1@cronos.ocn.ne.jp

全国病児保育協議会事務局

〒870-0943 住所:大分県大分市大字片島 83-7 大分こども病院気付
 担当:伊東 美紀 電話:097-567-0050(代表) FAX:097-568-2970